

# いわき市 地域福祉計画に関するアンケート調査 調査結果概要(令和2年3月)

## I 調査概要

### 〈調査の目的〉

本調査は、市民及び市内で活動している地域福祉団体の現状や考え、意見などをお聞きし、「いわき市地域福祉計画」の計画の策定にあたり、福祉に関する市民意識やニーズの把握を目的として実施した。

### 〈調査期間〉

令和2年1月31日（金）～令和2年2月14日（金）

※集計処理にあたっては、令和2年2月18日（火）着分の調査票まで含めた

### 〈調査対象・回収状況〉

調査種別	配布数①	総回収数	有効回収数②	有効回収率 ②／①
市民調査	1,800	625	623	34.6%
団体調査	100	65	65	65.0%

## II 調査結果（一般市民調査）

### 1 回答者のプロフィール

#### 《調査結果のポイント》

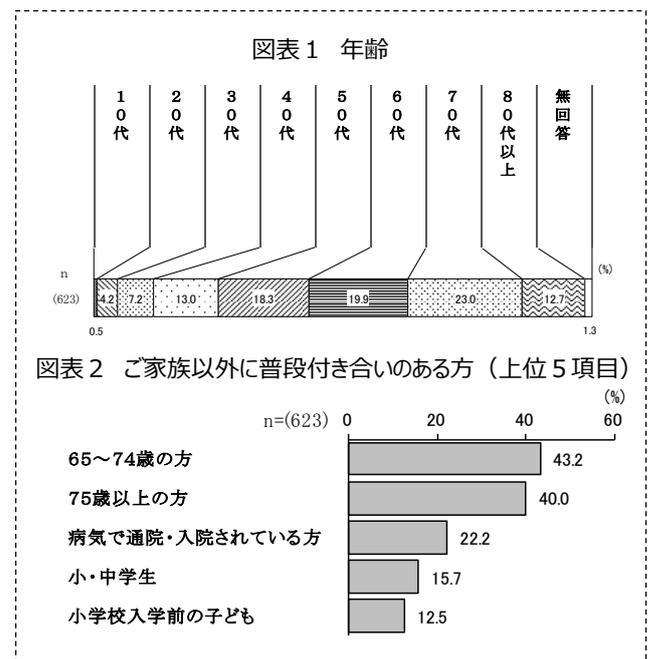
◎回答者の年齢については、「60代」以上が半数以上を占めており、年齢層は高くなっている。

#### 【年齢】

- 年齢については、「70代」が23.0%と最も多く、次いで「60代」(19.9%)、「50代」(18.3%)となっている。（図表1）

#### 【ご家族以外に普段付き合いのある方】

- ご家族以外に普段付き合いのある方については、「65～74歳」の方が43.2%と最も多く、次いで「75歳以上の方」(40.0%)、「病気で通院・入院されている方」(22.2%)となっている。（図表2）



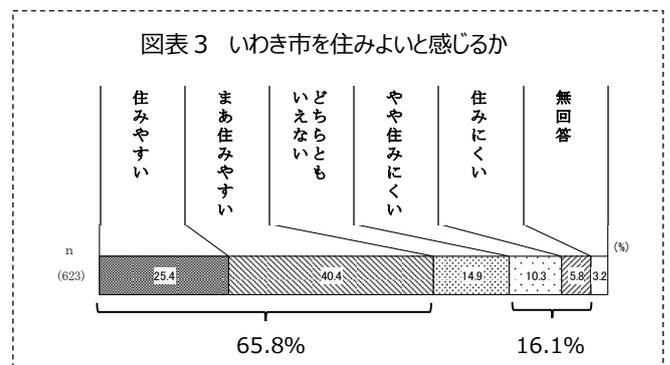
## 2 地域での日常生活について

### 《調査結果のポイント》

- ◎ 暮らしや環境については、「病気やけがに対する医療体制」が不満かつ重要と感じている人が多い。
- ◎ 居住地区の問題・課題については、「災害発生時への不安」や「買い物・交通が不便」と感じている人が多い。
- ◎ 地域の人が協力して取り組むべきことは、「災害や防災対策」「高齢者への支援」と考える人が多い。

### 【いわき市を住みよと感じるか】

- いわき市を住みよと感じるかについては、「住みやすい」が65.8%となっており、「住みにくい」は16.1%となっている。(図表3)



### 【暮らしや環境についての満足度と重要度】

- 暮らしや環境についての満足度については、「日常生活を支える買物や交通の利便性」で満足している人が35.5%と最も多く、「病気やけがに対する医療体制」で不満な人が33.4%と最も多くなっている。
- 暮らしや環境についての重要度については、「病気やけがに対する医療体制」で重要であると感じる人が78.2%と最も多くなっている。

### 【自治会や隣組などの活動や行事に参加しているか】

- 自治会や隣組などの活動や行事に参加しているかについては、「参加している」が63.4%、「参加していない」は28.1%、「加入していない」が6.4%となっている。
- 参加していない理由については、「仕事や家庭のことで忙しい」が35.3%と最も多く、次いで「自治会や隣組があるのかわからない」(17.7%)、「活動や行事の情報がない」、「興味がない」(ともに15.3%)となっている。

### 【生活の中での悩みや不安】

- 生活の中での悩みや不安については、「老後のこと」が68.1%と最も多く、次いで「健康のこと」(64.7%)、「災害時のこと」(46.2%)となっている。(図表4)

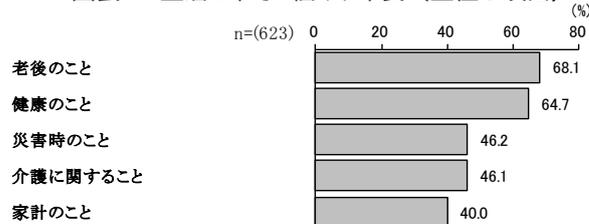
### 【居住地域の問題・課題】

- 居住地域の問題・課題については、「災害発生時への不安がある」が44.5%と最も多く、次いで「買い物に不便である」(29.4%)、「交通に不便である」(29.1%)となっている。(図表5)

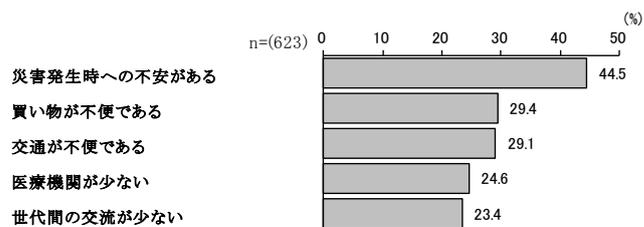
### 【地域の役割や人が協力して取り組むにあたって必要なこと】

- 地域の役割や人が協力して取り組むにあたって必要なことについては、「災害や防災対策」が68.1%と最も多く、次いで「高齢者への支援」(48.0%)、「安全や治安への取り組み」(33.5%)、「教育や子育ての支援」(27.8%)となっている。(図表6)

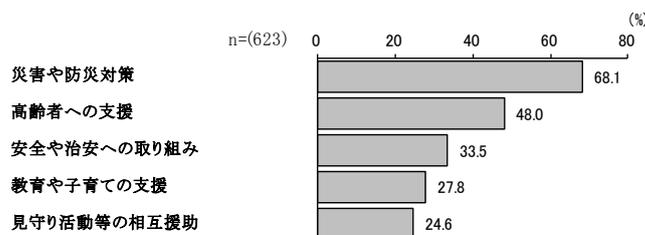
図表4 生活の中での悩みや不安（上位5項目）



図表5 居住地域の問題・課題（上位5項目）



図表6 地域の役割や人が協力して取り組むにあたって必要なこと（上位5項目）



### 3 地域活動（ボランティア・市民活動等）への参加について

#### 《調査結果のポイント》

- ◎地域活動への参加については、「参加したことがない」人が約6割を占めており、参加したことがある人で困っていることは「参加者が年々減っている」が33.9%と最も多い。
- ◎今後の活動への参加意向については、“参加したくない”人が約3割となっているものの、約4割の人は“参加したい”と回答している。
- ◎地域活動が行いやすくなると思う支援については、「地域活動に関する情報提供」が48.8%と最も多い。

#### 【地域活動への参加】

- 地域活動への参加については、「参加したことがない」が60.7%と最も多く、次いで「1年以上参加していないが、以前に参加したことがある」（16.7%）、「現在、年に1～数回参加している」（13.5%）となっている。

#### 【地域活動の内容】

- 地域活動の内容については、「環境美化に関する活動（自然愛護や美化運動、リサイクル運動等）」が56.8%と最も多く、次いで「高齢者に関する活動（高齢者の見守り、クラブ活動の協力、施設訪問等）」（16.1%）、「防災や防犯、交通安全等に関するボランティア活動」（15.3%）となっている。（図表7）

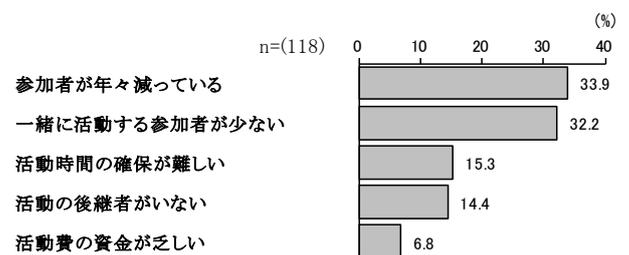
図表7 地域活動の内容（上位5項目）



#### 【地域活動で、困ったことや苦労したこと】

- 地域活動で困ったことや苦労したことについては、「参加者が年々減っている」が33.9%と最も多く、次いで「一緒に活動する参加者が少ない」（32.2%）、「活動時間の確保が難しい」（15.3%）となっている。（図表8）

図表8 地域活動で、困ったことや苦労したこと（上位5項目）



### 【今後の地域活動への参加意向】

- 今後の地域活動への参加意向については、「参加したい」人が37.5%となっており、「参加したくない」人は27.3%となっている。

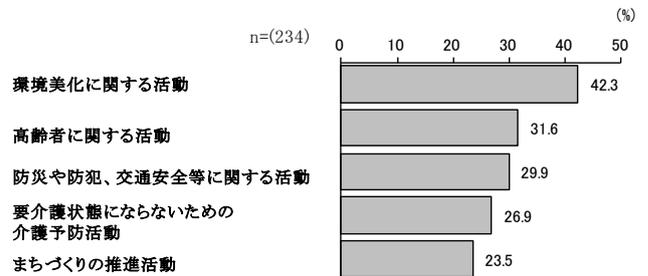
### 【参加したい地域活動と参加できない理由】

- 参加したい地域活動については、「環境美化に関する活動」が42.3%と最も多く、次いで「高齢者に関する活動」(31.6%)、「防災や防犯、交通安全等に関する活動」(29.9%)となっている。(図表9)
- 地域活動に参加できない、したくない理由については、「体力的に参加することが難しい」が45.8%と最も多く、次いで「時間がない」(40.8%)、「自分の趣味や自由な時間を優先したい」(20.8%)となっている。(図表10)

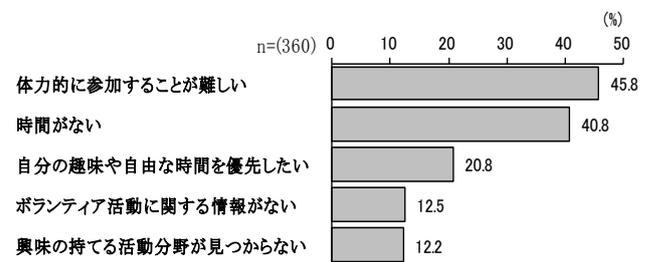
### 【地域活動が行いやすくなると思う支援について】

- 地域活動が行いやすくなると思う支援については、「地域活動に関する情報提供」が48.8%と最も多く、次いで「地域活動先の紹介(マッチング)」(24.7%)、「地域活動のための休暇等、職場の理解」(23.6%)となっている。(図表11)

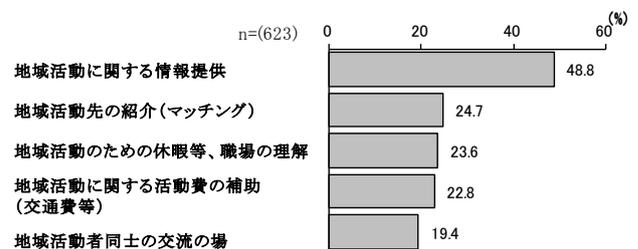
図表9 参加したい地域活動(上位5項目)



図表10 地域活動に参加できない、したくない理由(上位5項目)



図表11 地域活動が行いやすくなると思う支援について(上位5項目)



## 4 福祉サービス全般について

### 《調査結果のポイント》

- ◎福祉サービスに関する情報の入手状況については、「入手できていない」人が約5割、「入手できている」人が約2割となっている。
- ◎福祉サービスに関する情報の入手先については、「地域の回覧板」が34.5%と最も多い。
- ◎福祉に関することで悩んだり、困ったりしたとき、必要だと思う相談先の環境については、「身近に気軽に相談できる場がある」が44.6%と最も多い。

### 【福祉サービスに関する情報の入手状況】

- 福祉サービスに関する情報の入手状況については、「わからない」が25.0%と最も多く、「入手できていない」は45.7%、「入手できている」は23.1%となっている。

### 【福祉サービスに関する情報の入手先】

- 福祉サービスに関する情報の入手先については、「地域の回覧板」が34.5%と最も多く、次いで「市役所の窓口や広報誌」(31.0%)、「近所・知り合い・友人」(23.3%)となっている。  
(図表 12)

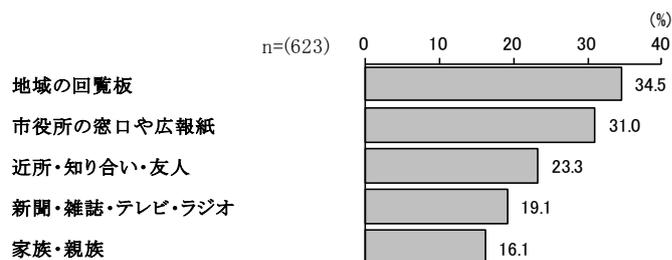
### 【福祉に関することで悩んだり、困ったりしたときの相談先】

- 福祉に関することで悩んだり、困ったりしたときの相談先については、「家族や親族」が50.2%と最も多く、次いで「市役所・支所・地区保健福祉センター」(36.0%)、「友人・知人」(31.8%)、となっている。(図表 13)

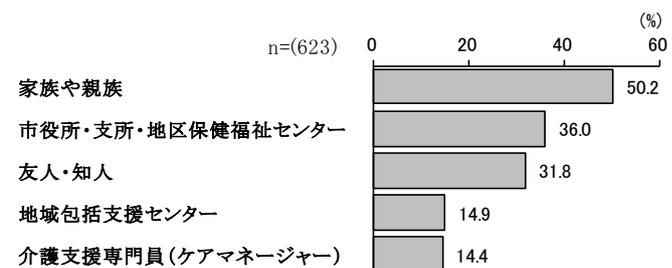
### 【福祉に関することで悩んだり、困ったりしたとき、必要だと思う相談先の環境】

- 福祉に関することで悩んだり、困ったりしたとき、必要だと思う相談先の環境については、「身近に気軽に相談できる場がある」が44.6%と最も多く、次いで「いろいろなことが一か所で相談できる場がある」(42.4%)、「専門性の高い相談支援が受けられる場がある」(28.1%)、「相談したいときに自宅に来てくれるような体制がある」(18.8%)となっている。(図表 14)

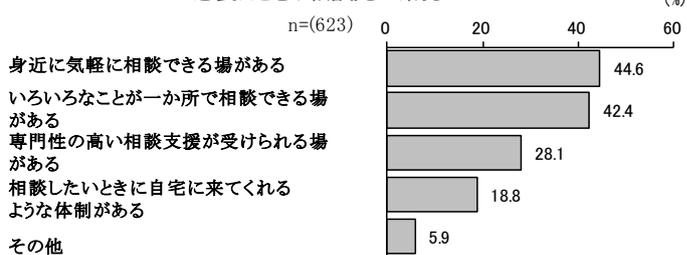
図表 12 福祉サービスに関する情報の入手先（上位5項目）



図表 13 福祉に関することで悩んだり、困ったりしたときの相談先（上位5項目）



図表 14 福祉に関することで悩んだり、困ったりしたとき、必要だと思う相談先の環境



## 5 防災について

### 《調査結果のポイント》

- ◎避難情報や災害情報の入手先については、「テレビ」「いわき市防災メール」が約7割と最も多い。
- ◎緊急時に手助けが必要な方は約2割となっており、その際の対応については「親族や知人に頼む」が約7割と最も多い。
- ◎災害などの緊急時に、高齢者や障がいのある方への手助けができるかについては、できる人が約4割となっており、その際にできることは「自分が避難する際に声かけすることができる」が約9割を占めている。

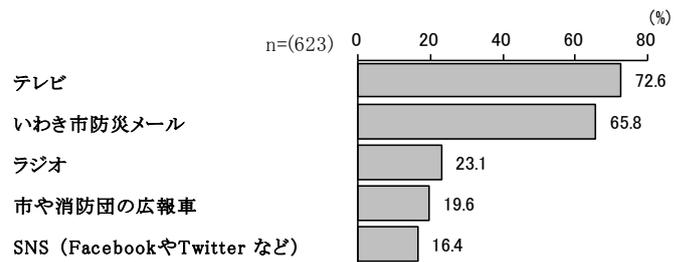
### 【避難行動要支援者避難支援制度の認知度】

- 避難行動要支援者避難支援制度の認知度については、「知らない」が66.8%と最も多く、次いで「名前は知っているが、制度の内容は知らない」(22.8%)、「知っている」(8.2%)となっている。

### 【避難情報や災害情報の入手先】

- 避難情報や災害情報の入手先については、テレビが72.6%と最も多く、次いで「いわき市防災メール」(65.8%)、「ラジオ」(23.1%)となっている。(図表 15)

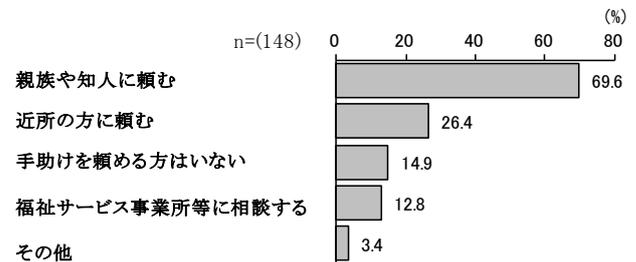
図表 15 避難情報や災害情報の入手先 (上位 5 項目)



### 【緊急時に手助けが必要であるか】

- 緊急時に手助けが必要であるかについては、「いいえ」が58.1%と最も多く、次いで「はい」(23.8%)、「わからない」(16.5%)となっている。
- 手助けが必要になった時の対応については、「親族や知人に頼む」が69.6%と最も多く、次いで「近所の方に頼む」(26.4%)、「手助けを頼める方はいない」(14.9%)となっている。(図表 16)

図表 16 手助けが必要になった時の対応 (上位 5 項目)



### 【緊急時に、高齢者や障がいのある方への手助けができるか】

- 緊急時に、高齢者や障がいのある方への手助けができるかについては、「できる」が38.2%と最も多く、次いで「難しい」(32.3%)、「わからない」(26.3%)となっている。

## 【災害などの緊急時に、どのような手助けができるか】

- 災害などの緊急時に、どのような手助けができるかについては、「自分が避難する際に声かけすることができる」が 89.5%と最も多く、次いで「避難所へ一緒に避難する手伝いができる」(57.1%)、「避難情報が発令されたとき等に伝えることができる」(55.5%)となっている。(図表 17)

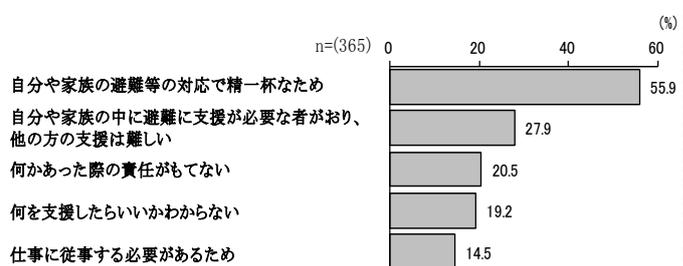
## 【手助けをするのが難しい又はわからない理由】

- 手助けをするのが難しい又はわからない理由については、「自分や家族の避難等の対応で精一杯なため」が 55.9%と最も多く、次いで「自分や家族の中に避難に支援が必要な者がおり、他の方の支援は難しい」(27.9%)、「何かあった際の責任がもてない」(20.5%)となっている。(図表 18)

図表 17 災害などの緊急時に、どのような手助けができるか  
(上位 5 項目)



図表 18 手助けをするのが難しい又はわからない理由  
(上位 5 項目)



## 6 地域での住民同士の支え合いや助け合いについて

### 《調査結果のポイント》

- ◎住民同士の自主的な支え合いや助け合いについては、「必要であり、できる範囲で協力したい」が約6割となっている一方、実際に協力していることがある人は約2割にとどまっている。
- ◎協力していない理由については、「どのようにすればよいかわからない」が36.0%と最も多い。

### 【住民同士の自主的な支え合いや助け合いについて】

- 住民同士の自主的な支え合いや助け合いについては、「必要であり、できる範囲で協力したい」が64.2%と最も多く、次いで「わからない」(27.8%)、「必要だと思わない」(2.7%)となっている。

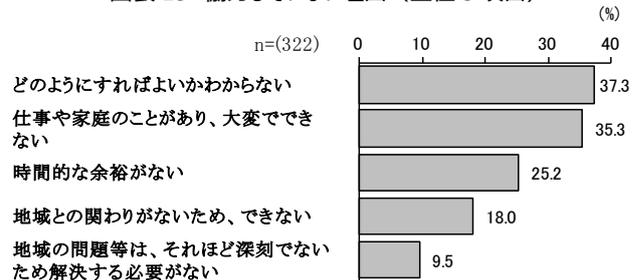
### 【住民同士の自主的な支え合いや助け合いで協力していること】

- 住民同士の自主的な支え合いや助け合いで協力していることについては、「ある」が17.0%、「ない」が76.5%となっている。

### 【協力していない理由】

- 協力していない理由については、「どのようにすればよいかわからない」が37.3%と最も多く、次いで「仕事や家庭のことがあり、大変でできない」(35.3%)、「時間的な余裕がない」(25.2%)となっている。(図表 19)

図表 19 協力していない理由（上位5項目）



## 7 自由意見の分類

- 地域福祉や福祉全般についての希望や意見については、「地域福祉・地域活動について」が57件と最も多く、次いで「市に期待する事・意見」(39件)、「交通・道路について」(20件)となっている。(図表 20)

### 【主な意見】

#### <地域福祉・地域活動について>

- ・福祉に対する支援メニューは多々あり、充実されていると思うが、支援メニューを知らない人に対する周知体制の強化が必要ではないか。また、住民支え合い活動やサロン会を通して地域でのつながりを深めることが大切ではないか。
- ・安全な地域で、安心して暮らしていけるようにしていきたい。困った時に頼れる場が分かりやすくなっているとよい。困っている人を手助けできるように情報の提供があるとよい。

#### <市に期待する事・意見>

- ・台風や水害に対する備え、交通渋滞、道路整備、医者不足、高齢者支援等時代に合った町づくりに尽力していただければと思います。
- ・いわき市は広域であり、隣接する県際地区や郡境などの僻地では、住宅も疎らで住民も少ない地域で老人が多い。従って日常生活の買いもの、夜間の急病などの心配がつきない。以上の様なところが増していると思われるので、その対策を官民一体で進める必要があると思われる。

#### <交通・道路について>

- ・今は健康で車の運転もでき不自由はありませんが、これから先運転ができなくなり、買い物等が心配です。
- ・高齢者に交通手段の補助を！免許証を返上した高齢者はタクシー代を補助する等があれば嬉しいです。
- ・災害（がけくずれ）地域に住んでおり、不安です。それに対して何の対策をするわけでもなく、ただ災害区域だけの状態です。

#### <生活について>

- ・人口が多い地区は良いが少ない地区に対しては、いろいろな面で手薄になっている気がする。自分の地区がなくなってしまうような感じで先が不安です。
- ・いわき市は、広すぎるところがデメリット。1ヶ所で、すべてのことが済むようにできると、便利なのは。

#### <防災について>

- ・これから種々の災害が発生すると考えられます。その中で一人暮らしの高齢者が増加すると災害時の避難が困難になります。
- ・防災無線放送が届かない地域が多すぎると思う。山間部は、海岸部より設備が無さすぎる事、情報入手困難者向けの対策をしてほしい。

図表 20 地域福祉や福祉全般についての希望や意見（上位5項目）  
(件)

内容	意見数
地域福祉・地域活動について	57
市に期待する事・意見	39
交通・道路について	20
生活について	16
防災について	13

### Ⅲ 調査結果（団体調査）

#### 1 団体の活動と地域福祉について

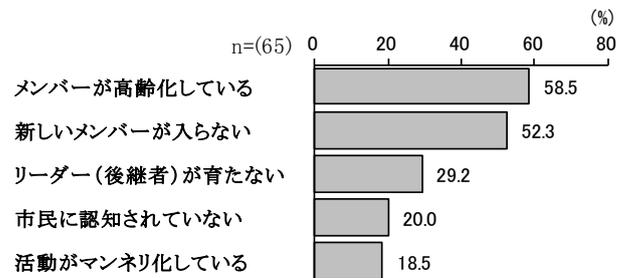
##### 《調査結果のポイント》

- ◎各団体の活動における地域福祉の観点での課題については、「住民の地域への関心の低さ・地域活動に協力する住民の少なさ」が38.5%と最も多い。
- ◎地域が協力して取り組むべきことについては、「高齢者への支援」が40.0%と最も多く、次いで「災害や防災対策」「見守り活動等の相互援助」（ともに32.3%）となっている。
- ◎地域福祉を進めるためにいわき市が取り組むべき施策については、「地域の支え合いの仕組みづくり」が41.5%と最も多い。

##### 【活動している中で困っていること】

- 活動している中で困っていることについては、「メンバーが高齢化している」が58.5%と最も多く、次いで「新しいメンバーが入らない」（52.3%）、「リーダー（後継者）が育たない」（29.2%）となっている。（図表 21）

図表 21 活動している中で困っていること（上位 5 項目）



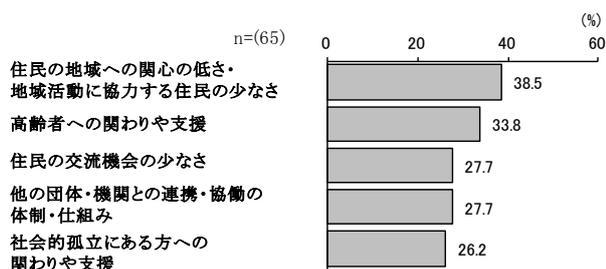
##### 【地域福祉の観点での課題】

- 地域福祉の観点での課題については、「住民の地域への関心の低さ・地域活動に協力する住民の少なさ」が38.5%と最も多く、次いで「高齢者への関わりや支援」（33.8%）、「住民の交流機会の少なさ」（27.7%）となっている。（図表 22）

##### 【地域福祉の観点での課題の解決に向けての取り組み】

- 地域福祉の観点での課題の解決に向けての取り組みについては、「当団体内の会議等で対策を検討した」が41.5%と最も多く、次いで「地域での交流の機会を設けた」（26.2%）、「見守り・声掛け活動を行った」「他の団体・機関に相談や協力の依頼を行った」「行政に対する働きかけを行った」（いずれも21.5%）となっている。（図表 23）

図表 22 地域福祉の観点での課題（上位 5 項目）



図表 23 地域福祉の観点での課題の解決に向けての取り組み（上位 5 項目）



**【地域としての役割や地域の人が協力して取り組むにあたって必要なこと】**

- 地域の役割や協力して取り組むことに必要なことについては、「高齢者への支援」が40.0%と最も多く、次いで「災害や防災対策」「見守り活動等の相互援助」(ともに32.3%)、となっている。(図表24)

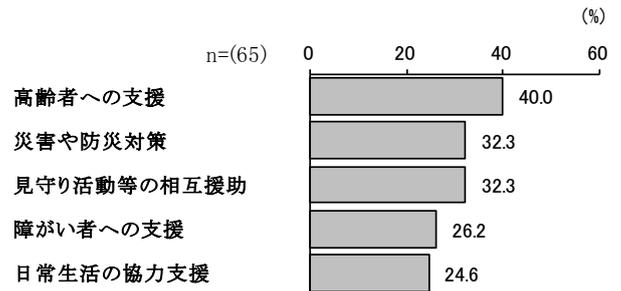
**【ボランティア活動の輪を広げるために重要なこと】**

- ボランティア活動の輪を広げるために重要なことについては、「活動の内容を知らせる広報を充実する」が55.4%と最も多く、次いで「地域での活動を調整する人材を育成する」(52.3%)、「地域での学習・研修の機会や内容の充実を図る」(49.2%)となっている。(図表25)

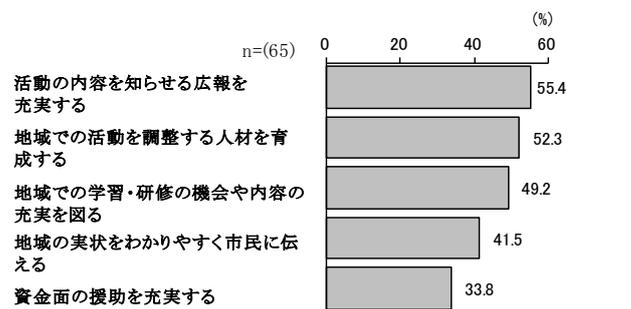
**【地域福祉を進めるためにいわき市が取り組むべき施策】**

- 地域福祉を進めるためにいわき市が取り組むべき施策については、「地域の支え合いの仕組みづくり」が41.5%と最も多く、次いで「地域における身近な相談体制づくり」(27.7%)、「地域で交流ができる場の充実」(20.0%)、となっている。(図表26)

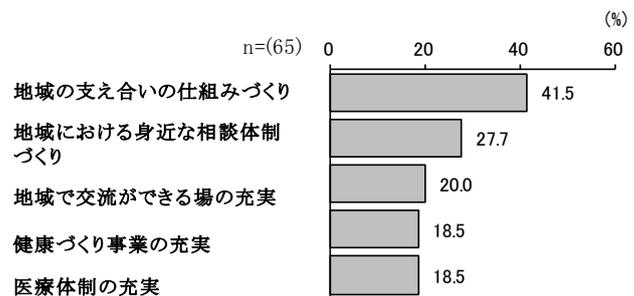
図表24 地域としての役割や地域の人が協力して取り組むにあたって必要なこと(上位5項目)



図表25 ボランティア活動の輪を広げるために重要なこと(上位5項目)



図表26 地域福祉を進めるためにいわき市が取り組むべき施策(上位5項目)



いわき市 地域福祉計画策定に関する  
アンケート調査結果報告書(概要版)

2020年3月

編集・発行:いわき市 保健福祉部 保健福祉課

〒970-8686 いわき市平字梅本 21 番地

TEL:0246-22-7450